

公共事業再評価調書（4回目再評価）

所管課： 河川課

1 事業概要  (整備目的)	事業名： 石垣新川河川改修事業		前再評価年度：平成20年度		
	事業種別： 総合流域防災事業	事業主体： 沖縄県		(S. 53 ~ H. 22)	
	事業箇所： 石垣市	根拠法令： 河川法		事業期間： S. 53 ~ H. 28	
	総事業費(百万円)： 2,885	(2,384)	費用内訳： 補助 9/10	(3. 20km) 事業量： 3. 74km	
1-2 前再評価以降の計画変更	事業区間の見直しを行ったことによる事業区間、事業費、事業期間の変更。 (前回:平成22年度完了、今回:平成28年度完了)				
2 再評価該当項目	<input type="checkbox"/> ① 再評価後一定期間(5年)を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業の中止 <input checked="" type="checkbox"/> ③ その他(平成22年度河川整備計画策定後一定期間(5年)を経過)				
3 再評価に至った主な要因 (具体的理由)	<input type="checkbox"/> ① 用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧ 当初計画が長期間 <input type="checkbox"/> ⑨ その他( ) 事業区間を延長した。 当初事業期間が長期間であるため。				
4 事業の進捗状況 (H27. 3時点)	項目	事業費(百万円)	整備(km)	用地取得(千㎡)	
	計画	2,885	3.74	33.60	
	実施済率	2,667 92%	3.28 88%	33.60 100%	
4-2 前再評価以降の主な進捗	阿武名橋からフナー橋までの約700mの護岸整備が完了した。				
5 事業効果の評価指標 (検討年50年) (基準年 H27) (単位:百万円)	① 一般資産 24,165 ② 農作物 425 ③ 公共土木施設等 40,935 ④ 間接被害額 2,488 便益(B) 68,013 ⑤ 残存価値 63 基準年換算(B) 49,525	① 建設費 2,885 ② 維持費 1,051  総費用 3,936 基準年換算(C) 7,379	費用便益比 (B/C) = 49,525 / 7,379 = 6.7		
6 事業を巡る状況の変化 (前再評価以降)	①社会・経済：河川右岸側に、住宅地の整備が見られる。 ②地元・自治体：管理用通路が通学路や健康増進の場としての散策路に利用されている。 ③利害関係者：特に問題なし。				
7 事業の必要性・効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など： 未整備区間については依然として氾濫の危険性があり、早期整備の必要がある。 ② 事業の効率性： 用地取得率100%、整備率88%と事業は進捗しており、現計画を推進することが効率的である。 ③ 事業効果の発現状況： 計画延長3. 74kmのうち、3. 2kmの整備を完了し、同区間の浸水被害が軽減された。				
8 今後の対応・見直し	① 事業計画等：未整備区間540mについては、用地取得も完了していることから、平成28年度の完成を目指し整備を推進する。 ② 対住民関係：特に問題なし。 ③ 執行体制等：現在の組織体制で特に問題なし。				
9 対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止				
10 その他 (前再評価での主な意見等)	特に意見なし。				

\* 1事業概要 の上段( )は前再評価時点の計画